



家族・地域で見守り! 高齢者の消費者トラブル①

高齢者は悪質業者などに狙われやすい傾向にあります。

高齢者が安全で安心できる消費生活を送るためには、本人の自覚も必要ですが、身近にいる家族や地域の人たちが、日々の暮らしや交流の中で見守っていくことが大切です。

なぜ、高齢者が被害に遭いやすいのでしょうか？

① 自宅にひとりでいる事が多い

核家族化が進む中、高齢者のみの世帯が増え、お年寄りが自宅でひとりでいることも多くなりました。詐欺師や悪質な業者は、このような「誰にも相談できない状況」を狙っています。

② 高齢者が抱える「お金」「健康」「孤独」への不安を利用する

人と話す機会が減ってくると、親切な人は熱心に聞いてしまいがち。そんな中で「必ず儲かる」「健康不安が解決」などと言われると、信じてしまいやすい傾向があります。

③ 「事を荒立てたくない」という気持ちが発覚を遅らせる

高齢者はだまされたとわかって「恥ずかしい」「人に迷惑をかけたくない」と考える傾向が強いようです。そのため、発覚が遅れたり、泣き寝入りするケースも多いので、狙われやすくなります。

高齢者が被害に遭う要因

- ①健康上の不安から、セールスにのまれてしまう。
- ②勧められるままに契約してしまう。
- ③親切にされると信用し、情に訴えられると断れなくなる。
- ④プライドやあきらめが被害を隠すということが言われています。

高齢者の被害の特徴

- ①情報量が少ないため、誤った判断をしてしまう。
- ②律儀に対応し、業者のいいなりになってしまう。
- ③消費者トラブルに遭っても、気がつかない。
- ④他人に知られるのが恥ずかしいという気持ちから、誰にも相談しない。





家族・地域で見守り! 高齢者の消費者トラブル②

高齢者の見守りポイント

- しつこい電話を切れずに困っている。
- 慌ててまとまったお金をおろしている。
- いつもより表情が暗く元気がない。
- 頻繁にコンビニでお金の支払いをしている。
- 業者と頻繁に電話している。
- 宅配便や郵便物が次々届くようになった。
- 不自然な工事を繰り返している。
- 業態がよくわからない店舗や特設会場によく出入りしている。



「おかしいな」と思ったら声をかけましょう。

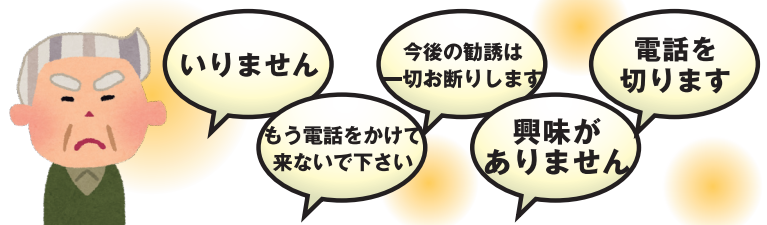
高齢者の身近にいる方が、高齢者の変化に「気づき」、「声かけ」、「相談機関へつなぐ」ことが、トラブルの拡大防止へとつながります。

- ① **声かけ**..... 高齢者は人に迷惑をかけたくないとの思いから、相談しない場合もあります。「何か心配ごとがない?」「悩んでいない?」など日常会話の中で聞いてみましょう。
↓
- ② **事実確認**..... 具体的に何があったのか、今どんな状況なのか、高齢者の意思を尊重しながら、ゆっくりと聞きましょう。
↓
- ③ **相談機関へ**... 消費者トラブルと思われる場合は、消費生活センターに相談をすすめましょう。本人だけでは難しい時には付き添うことも大切です。

悪質業者を撃退! 断り方のコツ

“電話勧誘”の場合

- 早く断って、話を長引かせずに電話を切ること。
- 「いいです」「今は忙しい」などのあいまいな断り方はダメ。
- 遠慮せずに「はっきり・きっぱり」と断りの意思を伝えましょう。
- しつこい勧誘相手には、こちらから電話を切りましょう。



“訪問販売”の場合

- ドアを開けずにインターホン越しに用件を聞きましょう。
- ドアを開ける前に「いいません」ときっぱり断りましょう。
- しつこく勧誘されても「契約しません、お帰り下さい」とはっきり伝えましょう

